

働く人としっかり向き合い、信頼され、選択される 〈静岡ろうきん〉であり続けるために



日ごろより〈ろうきん〉をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

当金庫の事業の状況をご案内するため、ディスクロージャー誌「静岡ろうきんの現況2016」を作成いたしました。多くの皆様にご高覧いただき、当金庫に対するご理解を一層深めていただければ幸いです。

さて、2015年度は「働く人としっかり向き合い、信頼され、選択される〈静岡ろうきん〉であり続けるために、経営改革に『TRY(挑戦)』する3ヵ年」と位置づけた第2期中期計画『TRY』の初年度として、「労金運動のさらなる発展」をはじめとする5つの基本戦略の着実な実践に努め、働く人の“笑顔”拡大に取り組んでまいりました。

結果、皆様のご理解とご協力により、多くの方にご利用いただき、預金・融資増加額目標、預かり資産販売額目標を達成することができました。心より御礼申し上げます。

働く人を取り巻く環境は、有効求人倍率の上昇など労働需給指標に堅調さはあるものの、人口減少・少子高齢化の進行に伴う社会保障関連負担の増など、依然として先行き不透明感が漂っています。

このような環境下だからこそ、働く人の福祉金融機関である当金庫の果たすべき役割は従来にも増して一層大きいものであるとの認識のもと、今年度、取扱開始から60周年を迎えた〈ろうきん〉住宅ローンの存在感をさらに高めるとともに、働く人の生活を支える各種商品・サービスのさらなる利用拡大にTRYしてまいります。

今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

2016年7月

理事長
古川 正明